

結核（病気）の治療

結核（病気）は治りますか

はい。現在の治療薬でほとんどの場合、結核（病気）は治ります。

日本における結核の標準的な治療は2-4種類の薬で6-9ヶ月間で、ほとんどの場合1年以内に終了します。医師の指示どおりに薬をのめば結核は治ります。HIVに感染している人はより長い期間が必要になります。

結核菌は時に「耐性」になります。これは薬が結核菌を殺さなくなることを示しています。この「耐性」がおこると他の組み合わせの薬が投与されます。耐性の結核は治療するのが難しくなり、治療に時間がかかりますが、ほとんどの人の耐性結核は治療できます。

結核の薬は比較的安全な薬です。しかし時に副作用を起こすことがあります。副作用には軽いものも深刻なものもあります。もし、あなたの健康状態に大きな変化（副作用）があれば、あなたのかかりつけの医師あるいは看護婦にすぐ連絡をして下さい。かかりつけの医師あるいは看護婦は、服薬の中止を指示したり、検査のため受診するよう伝えてくれます。

注意すべきからだの変化（副作用）は何ですか

以下の副作用は重大なものです。もし、どれかがあるようならすぐ、医師あるいは看護婦に連絡をして下さい。（薬別によく見られる副作用は表のとおりです）

- ・黄だん（皮膚や眼の黄染）
- ・色の濃い尿
- ・吐き気、おう吐
- ・食欲不振
- ・視力の変化
- ・説明のつかない発熱
- ・説明のつかない疲労
- ・急な胃の痛み
- ・手足のしびれ、関節の痛み
- ・発疹
- ・めまい、ふらつき
- ・あざがでやすい、出血がとまりにくい
- ・耳鳴り、聞こえの変化

どうしてそんなに長い間薬を飲まなくてはならないのですか

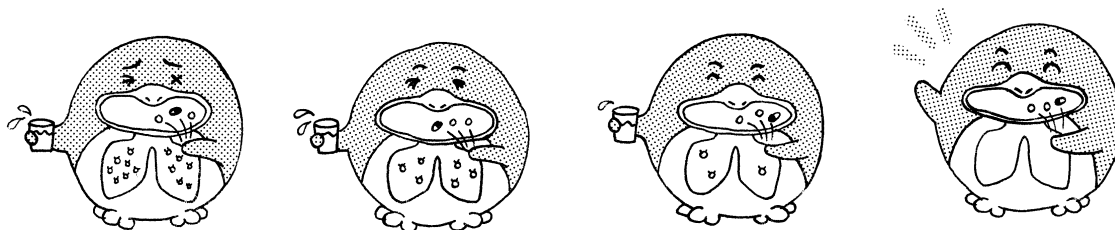
あなたは体の中のすべての結核菌に薬が届くように、長期間結核の薬をのむ必要があります。結核菌は強い菌です。あなたが薬を飲み始めるとすぐ死ぬ結核菌もありますが、多くの結核菌はゆっくり死に、すべての菌が死ぬまでには長い時間がかかります。

どうしてきちんと規則正しく薬を飲まなくてはいけないのですか

結核菌は非常にゆっくり死んでいきます。薬で結核菌を殺すのには最低6ヶ月が必要です。治療を初めて数週間するとたいがい良くなったように感じます。しかし結核菌はまだ体の中で生きています。ですから結核の症状がなくなって調子が良くなっても、菌が死んでしまうまで薬を飲み続けなくてはなりません。

元気になったように感じて治療をやめたり、不規則な治療をすると危険な状況になります。結核菌は再び増殖し、病気の期間が長くなります。その上結核菌が薬に対して耐性になってしまうこともあります。今までの薬が効かなくなると、耐性菌を殺すには違う種類の新しい薬が必要となります。この新しい薬はより長い期間飲むことが必要で、深刻な副作用がでることが多くなります。

治療中の人再び感染性になると、結核菌を家族、友人、親密なつきあいの人につうつすこととなります。結核の薬を医師や看護婦の指示通りのむことが大切です。



薬を規則正しくのめば結核は治ります

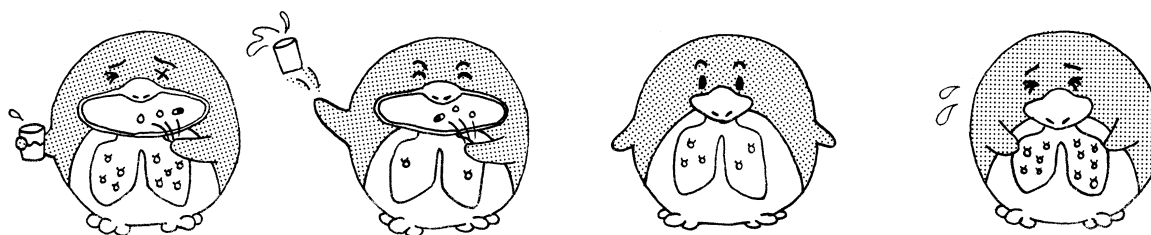
元気になりました。どうして薬を飲み続けなくてはならないのですか

あなたが元気になったと感じても、決して薬をのむのを止めないで下さい。

あなたの体にはまだ活動性の結核菌がたくさんいるのです。

もしあなたが薬をのむのを止めると、死んでいない結核菌が増殖を始め病気に戻ってしまいます。全ての菌を殺すには時間がかかります。

結核患者は、耐性の結核になる危険があります。薬に耐性のある結核菌は結核患者が薬をはやく止めすぎたときにおこります。肺か、のどの未治療の薬剤耐性菌結核患者は、この菌を家族や友人を含む周りの人に伝染させます。



薬を早く止めると結核が再発します

毎日のむのを忘れないように、どんなふうに薬をのめばいいですか

結核（病気）が治るための唯一の方法は医師から言われたとおり薬をのむことです。これは簡単なことではありません。結核の薬は6か月以上のむわけですから、日常生活の一部にする必要があります。毎日同じ時間に薬をのむと、薬のみ忘れを防ぐことができます。

結核の薬をのみ忘れないため、いくつかの方法があります。

- ・毎日同じ時間に薬をのむようにしましょう。例えば朝食の前や後や休憩時間、歯を磨いた後などです。のみ忘れを防げます。
- ・家族や友人にあなたが薬をのむのを覚えてもらいましょう。あなたの服薬に協力してくれます。
- ・薬をのんだら毎日、カレンダーに印を付けましょう。治療の経過が実感できます。
- ・一週間分の薬を薬入れに入れましょう。そして、ベッドの脇に置いたり、財布やポケットに入れておきましょう。

もし薬をのむのを忘れたときは、その回の薬はとばして次回から普段どおりに薬をのみ続けて下さい。そしてかかりつけの医師にそのことを伝えて下さい。

結核の薬をのむ上で知っておくべき大切なこと

毎日の生活習慣として同じ時間に薬をのむと、薬のみ忘れを防ぐことができます。

空腹時に薬をのむのが一番です。ですから、薬は食事の30分以上前か、食後1時間以上あけてあるいは就眠時にのみましょう。日本では一般に朝食後に薬をのむよう指示されます。

薬をのむ時に知ってほしい重要なことがあります。

- ・今のんでいる他の薬について、かかりつけの医師か看護婦に話しましょう。
- ・経口避妊薬（ピル）をのんでいる場合、かかりつけの医師か看護婦に話しましょう。
- ・健康的な食事をし、十分に休養を取りましょう。
- ・アルコールの入った飲み物を避けましょう。
- ・もしあなたの尿、唾液、涙がオレンジ色に変わっても心配することはありません。リファンピシンをのんだ時に当たり前にみられる副作用です。

薬をのむのを忘れるとどうなりますか

1日薬をのむのを忘れたからと言って心配する必要はありません。翌日から処方された薬を1日ずつのみ続ければかまいません。あまりに何度も忘れるようだと、くすりは効果を発揮しませんし、耐性菌になってしまうこともあります。

HIVに感染している人にとっては、薬をのみ忘れないことはとりわけ重要です。

もしあなたが薬をのむのを忘れたら、必ずあなたの健康に関わる人に伝えて下さい。

どうして定期的な受診が必要なのですか

あなたが服薬している間、定期的に医師を受診することになります。

あなたの健康に関わる人たちは以下の理由であなたの受診を必要としています。

- ・薬が効いているかを確認するため
- ・あなたに薬の副作用が出ていないかを確認するため
- ・あなたの喀痰を検査し、あなたが排菌していないかを確認するため
- ・薬を渡すため

どうすれば結核を蔓延させないようにできますか

結核を蔓延させないための一番大切なことは、医師や看護婦の指示どおり薬をのむことです。薬を指示どおりにのめば、一般に数週間で結核菌を排出しなくなります。しかしあなたは治った（治癒した）訳ではありません。一番大切なことは、医師がもう止めてもいいと言うまで、処方された薬を飲み続けることです。

結核の病状のため入院が必要となる場合、結核菌が拡がらないよう換気された部屋に入ります。

結核患者が感染性である場合、自分および周りの人たちを守るためにできることがあります。

次のような指示が医師からされます。

- ・薬をのむことが一番大切なことです。
- ・咳をしたり笑うときには必ず口を手やティッシュでおおってください。
- ・感染性である間は、学校や職場に行かないで下さい。そして医師がかまわないと言うまで、周りの人との濃厚な接触を避けて下さい。

あなたが多くの時間をともにする人に検診を受けるように話しましょう。この検査は、短期間で結核の病気になってしまう小さな子供やH I Vの感染者にとって重要な意味を持ちます。

これまでどおりに暮らしていいですか

結核の治療を始めた最初の数週間、医師があなたが感染性がないと判断するまで、あなたの活動や面会は制限されることがあります。

多くの結核患者は自宅で普段どおりの生活をすることができます。結核菌を上げなくなれば、子供を含む誰にでも近づくことができます。治療中であっても薬をのみ続けている限り、普段どおりの生活をすることができますし、あなたに近づいても心配ありません。部屋を隔離したり、食器を分ける必要はありません。

近代の薬を使うまで、結核というと人々は恐れ遠ざかっていました。今日、指示されたとおり薬をのんでいるのであれば、誰もあなたのそばにいることを恐れる必要はありません。

新鮮な空気、休養、健康的な食事はあなたを助けますが、あなたを治療するわけではありません。あなたを治療できるのは、薬だけです。